

令和7年度一般入学者選抜試験

出題の意図等【国語】

◆大問1（漢字の基礎知識・文章の読解）

① 本文は、コロナ禍における「三密」を「聖と俗」の視点から論じたもの。社会的な事件を、哲学的な概念を用いてとらえ直している。自ずから抽象的な語彙が目立つ文章であるが、カラオケやライブ、図書館などありふれた身近な「娯楽」・「文化」の意味に光を当てており、各自の経験に基づいて問題を考えることが可能で、それを期待して作成した。

② 各設問のねらい

問一・二 漢字の書き取りと読みの知識を問うもの

問三・四 指示語が指示する内容を問うもの

問六 「聖と俗」の概念が把握できているかを問うもの

問五 「三密」と「文化」の関係を問うもの

問八 文章全体の結論を問うもの

③ 記述問題（問五・問八）では、それぞれ解答する上で必要な段落を指定し、押さえるべき箇所が見出しやすいように配慮した。

◆大問2（漢字と語彙の基礎知識・文章の読解）

① 本文は、男女共同参画の現状について、世論調査の結果に基づいて考察したものの。2つの世論調査結果を比較し、またそれらとは別の調査も視野に入れて、調査自体がはらんでいる問題点を指摘している。将来、受験者の身近で起こりうる問題を扱っており、それについて考えるきっかけとなることを期待して作成した。

② 各設問のねらい

問一 漢字の知識を問うもの

問二 慣用句および慣用的な文末表現の知識を問うもの

問三 2つの調査結果を比較した箇所の要点を問うもの

問四 男女共同参画社会の概念を問うもの

問五 調査自体がはらむ問題点を問うもの

問六 別の調査結果の要点を問うもの

③ 記述はおおむね平易で、本文から各調査の数値の意味を読み取ることもそれほど難しくはない。ただし本文は、単なるアンケート結果に関する評価ではなく、調査自体がはらんでいる問題点を指摘する点に主眼があるので、文章全体の主旨を把握することは易しくはなかったと思われる。

④ 【参考資料】は、本文の記述を理解しやすくするために付した。

【参考資料1】のQ9のみ、問五（2）で使用した。